

# 都市再生整備計画(第1回変更)

りゅうおうちゅうしんきよてんちく  
竜王中心拠点地区  
(地方都市リノベーション事業)

やまなしけん か い し  
山梨県 甲斐市

平成26年1月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

## 様式1 目標及び計画期間

都道府県名	やまなしけん 山梨県	市町村名	かいし 甲斐市	地区名	りゅうおうちゅうしんちく 竜王中心拠点地区	(地方都市リノベーション事業)	面積	434	ha
-------	---------------	------	------------	-----	--------------------------	-----------------	----	-----	----

計画期間	平成	24	年度	～	平成	27	年度	交付期間	平成	24	年度	～	平成	27	年度
------	----	----	----	---	----	----	----	------	----	----	----	---	----	----	----

### 目標

- 大目標 人が安心、安全に暮らし、活気あふれるまちづくりの推進  
 目標1 都市機能の充実したまちづくり  
 目標2 安全で快適に暮らせるまちづくり

### 目標設定の根拠

都市全体のリノベーション方針(都市構造再編を図るため、都市機能の拡散を防止する等の公的不動産のマネジメントも取り組みを含む)  
 本市は、平成16年9月1日に旧竜王町・旧敷島町・旧双葉町の三町合併により誕生した均衡のとれた本市の発展のため、地域の特性や役割などを考慮して、地域の核となる地区の基盤整備を行っている。  
 これまでの竜王駅周辺を中心とした中心市街地は、景気低迷や後継者不足による個人商業施設の撤退など空洞化が進み、都市としての求心力も低下している一方で、竜王駅周辺整備を契機に地域の商工会のメンバーを中心に中心市街地活性化の取り組みとして、これまでの街並みを残す活動が展開されている。  
 これにより新市の拠点づくりとして、地域の歴史・文化等の特性を活かした個性あふれるまちづくりを推進するため、本市の都市拠点としてのJR竜王駅周辺を中心とした中心市街地を「中心拠点区域」に位置づけ、高度な都市機能が備わるまちづくりの推進を展開してきたところである。  
 この基盤整備により公共交通網が完備されたことから竜王駅周辺は、地域住民の利便性の向上が図られ、地域の再編が進められている。  
 一方、昭和50年代を中心に竜王駅北部に開発された既成市街地外縁部の住宅地では居住者の高齢化が顕著であるが、反面、若者の各世帯も微増であるが流入している地域でもある。  
 このため、既成市街地にある駅やバス停といった公共交通のアクセスポイントを拠点として活用を行い、既成市街地において不足している日用品買い回り施設等の生活機能の商業施設の確保や中心市街地の公共・公益サービス機能との連携強化を図る。  
 今後は、駅周辺への民間医療施設等の立地される計画による医療施設の配置及び市の課題である保育園・幼稚園の統廃合や老朽施設の建替え等を拠点区域内に再配置を行い、必要な施設を集約する。また、市有施設跡地などは、地域のニーズや市民との協働により、地域内の土地等の市有財産を有効に活用するなど、市及び地域が連携して有効活用の推進を図り、集約型都市機能構造の実現に向けた都市機能の再配置に取り組んで行く。

#### まちづくりの経緯及び現況

- 本市は、平成16年9月に竜王町、敷島町、双葉町の合併により誕生し、それぞれの庁舎を中心として、大きく分けて三つの市街地から形成されている。
- 本市では、平成18年3月に第1次甲斐市総合計画を策定し、「質の高い快適な居住環境が整備されたまち(快適居住都市)」と「甲府盆地の新たな発展をリードするまち(活力創造都市)」の2つの将来像を統合し、甲斐市の望まれる将来像を「緑と活力あふれる生活快適都市」として掲げ、基本政策として6つのまちづくりの方針を定めたところである。
- また、総合計画と併せて、平成18年3月に甲斐市地域防災計画を策定するなかで、防災機能の強化のための各種の事業を計画し、災害に強いまちづくりを目指している。
- 当該地区は、市役所本庁舎を中心とした甲斐市の中心的市街地であり、中心市街地にふさわしい都市基盤整備の整備を進めるとともに、庁舎の集約化を始めとする都市機能の充実を図ることとしている。
- 本市は、これまでの竜王駅周辺を中心とした中心市街地は、景気低迷や後継者不足による個人商業施設の撤退など空洞化が進み、都市としての求心力も低下している一方で、竜王駅周辺整備を契機に地域の商工会のメンバーを中心に中心市街地活性化の取り組みとして、これまでの街並みを残す活動が展開されている。
- この竜王駅周辺の中心市街地は、JR中央本線が横断して市街地を分断していたが、平成20年3月竜王駅南北自由通路及び竜王駅橋上駅舎の供用開始により南北の地域間が連携され、平成22年3月には竜王駅南北駅前広場が供用開始され公共交通基盤整備及び公共交通の利用促進を図ってきた。また、市内循環バスの社会実験を行い、平成25年4月からは中心拠点区域及び生活拠点区域を循環する本格運行が始まる段階である。一方、既成市街地外縁部においては、公共交通利用者の利便を高めるために、通勤通学者の利便性及び安全性の確保を図るため、市道の歩行者空間の確保、バリアフリー化などに取り組んできたところであるが、未整備の箇所も多く、本計画に位置付け取り組みが求められている。

#### 課題

- 旧町単位で3つの市街地が形成されており、また、郊外型の大規模店舗の建設により、一体的な都市として発展が阻害されているため、まちづくりの拠点となる公共施設や道路網などの都市基盤の充実や都市機能の整備が課題である。
- 大規模災害(東海地震や釜無川活断層などの活断層地震)が想定されている中で、公共施設の耐震化や防災情報などのネットワーク施設など、地域の防災機能の強化が課題である。
- 他地区からの人口の流入が多く、また、核家族化も進行していることから、地域の自治体活動への参加が少なく、地元住民とのコミュニティ不足が課題である。
- 中心市街地の核となる都市機能の一つである子育て支援施設・教育文化施設などの公共施設の整備とあわせて、本地域の持続を図るために必要な商業施設の配置が望まれている。
- 古いまちなみなど歴史的資源はまちづくりの中で活かされていないだけでなく、徐々に失われている。中心市街地の核となる施設の整備とともに、市民がまちに対する誇りや愛着を取り戻し、来訪者が回遊して時間消費ができるよう、地域資源を活かしたまちづくりが望まれる。
- 中心市街地の竜王駅周辺は、バリアフリー化や歩道の整備が行われているが、これに接続する生活道路の歩道整備が不十分であり、安心して歩ける歩行者空間の確保が望まれている。

#### 将来ビジョン(中長期)

- 甲斐市総合計画において「地域コミュニティ」の活性化が必要な地域として位置づけられている。
- 甲斐市総合計画では、まさか(大規模災害や事件・事故)の不安が少ないまちづくりを推進し、非常時に迅速かつ的確に対応できる防災・防火体制づくりを進めている。

#### 【総合計画】

○本地区の竜王駅周辺地区は、「都市機能が充実したまちづくり」を図るべき地区として竜王駅周辺の均等ある発展を図るため、地域の核となる地区の機能整備や地域に息づく歴史・文化や自然環境などの特性を活かした市街地整備により、市民が誇りと愛着を感じることが出来るまちづくりの推進を掲げている。

## リノベーション事業の計画

### 都市機能配置の考え方

・本地区は、旧町から引き継ぐ本市の玄関口であるJR竜王駅をはじめ、路線バス及び高速バスのバスターミナルといった公共交通の結節機能、衰退しているものの商店街や企業の支店等を中心とした経済機能、図書館、学校、市役所等の公共公益機能をもとより有しているところであるが、この既成市街地の持続を図るため、これまでの地域の行事や歴史資産の活用と合わせて、商業施設の誘導を行い、市民が愛着と誇りをもてる子育て支援施設機能、教育文化機能などの充実を図り、生活に必要な都市機能を整備する。

目標を達成する上で必要な「地方都市リノベーション推進施設」「生活拠点施設」の考え方(民間事業者による事業継続の見込みや民間事業に対する行政の支援等を含む)

・甲斐市都市計画マスタープランに位置付ける拠点区域に「中心拠点区域」を設定し、本地区においては、地域特性に合った市街地整備を推進し、良好な生活空間の確保を目指した持続可能なコンパクトなまちづくりの展開が求められており、JR竜王駅を中心とした中心拠点区域において、子育て支援・教育文化施設の整備・維持を支援し都市の再構築を図り、地域の中心拠点形成を目指すものである。  
 ・公共施設の分散化を抑制するため、中心市街地に「中心拠点区域」を設定し、区域内にある老朽化した保育園の敷地を活用し、竜王北保育園・竜王西保育園の整備を図り、民間事業者に対しては、保育園運営の指定管理者制度など事業計画、運営の向上及び支援の検討を行う。

地方都市リノベーションに必要となるその他の交付対象事業等

・JR竜王駅を中心とした中心拠点区域において、周辺の道路整備を併せて整備することにより、安心して歩ける歩行者空間や駅へのアクセス向上と利便性の確保及び通学路としても安全性の確保を行う。

## 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性		目標値	
			従前値	基準年度	目標値	目標年度
保育園の園児数	人/年	入所希望に対応した施設の受入枠の拡大	218	H24	230	H27
歩道整備率	%	市道新町本線歩道の整備率の向上	0	H24	30	H27

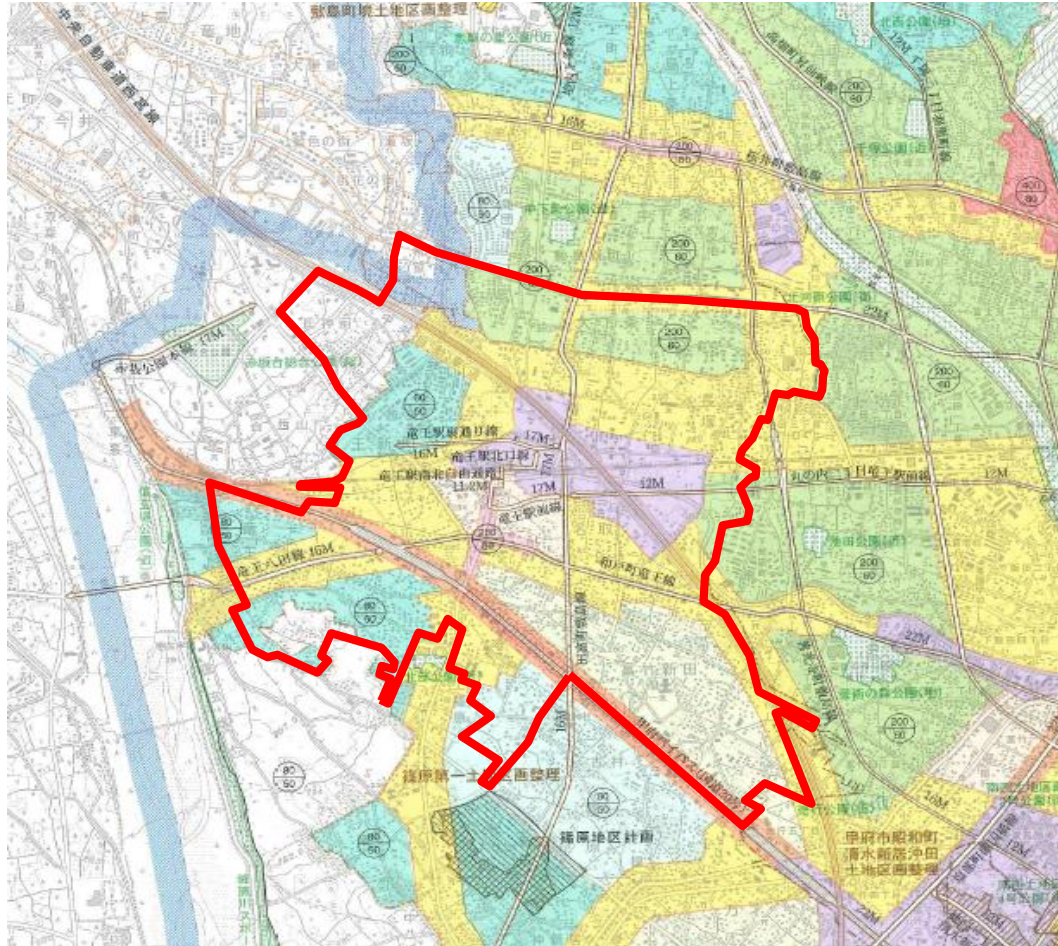
## 様式2 整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【都市機能の充実したまちづくりの整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地に「中心拠点区域」を設定し、本地区においては、地域特性に合った市街地整備を推進し、良好な生活空間の確保を目指した持続可能なコンパクトなまちづくりの展開が求められており、JR竜王駅周辺の中心拠点区域において、子育て支援の整備・維持を支援することにより、都市の再構築を図るため、公共施設である保育園施設の整備を行い、地域の中心拠点形成を図る。</li> </ul>	<p>地方都市リノベーション推進施設：竜王北保育園整備事業・竜王西保育園整備事業</p>
<p>【安全で快適に暮らせるまちづくりの整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地にある通学路でもある市道の改良整備により、通学路の確保及び地域住民の安全性利便性の確保を図る。</li> <li>・甲斐市地域防災計画で位置づける第1避難施設である既存の学校施設を活用し、災害時に寄与できる施設整備を行うことにより地域の拠点形成を図る。</li> </ul>	<p>道路（地方都市リノベーション事業）：市道新町本線・市道篠原田福線            道路：市道新町本線・市道竜王駅南通り線            地域生活基盤施設（地方都市リノベーション事業）竜王東小学校体育館天井改修事業            地域生活基盤施設：竜王地区防災無線整備</p>
事業実施における特記事項	



都市再生整備計画の区域

<p>竜王中心拠点地区(山梨県甲斐市)</p>	<p>面積 434.0 ha</p>	<p>区域 竜王、篠原、富竹新田、竜王新町、名取、長塚、大下条、中下条の一部、龍地の一部</p>
-------------------------	--------------------	--



凡例 都市再生区域

